



いちようっ子

～ 夢いっぱい 笑顔いっぱい 共に生きるいちようっ子 ～

＜学校教育目標＞ 児童数385名

強 く - 心身ともに強く、鍛える子
正しく - 深く考え、進んで学ぶ子
美しく - 思いやりがあり、感動する子



令和3年 新年を迎えて

校長 上岡 勝

あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は、新型コロナウイルスの影響により、学校運営の在り方が大きく問われた一年でしたが、本校では、授業をはじめとした教育活動(学校行事を含む)を概ね順調に行うことができたと思っております。保護者並びに地域の皆様には、多大なご理解とご協力を賜り、改めて心から感謝申し上げます。

令和3年、新たな年を迎えた現在でも、新型コロナウイルスの感染拡大が全国的に深刻な状況にあります。このような中、本日3学期がスタートしましたが、引き続き、学校を挙げて感染防止対策を徹底しながら、385名のいちようっ子の健やかな成長を目指して全力を尽くしてまいります。今学期も、皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

＜変化の中で大切にしたいこと＞

さて、社会の変化に伴い、学校現場はここ数年で大きな変化を重ねています。5・6年生の英語科や3・4年生の外国語活動、プログラミング教育等の新たな教育内容の導入、また子どもたちの学びも進化しています。さらにICT教育に至っては、先月本校でも環境整備が整いましたが、4月からは本格的に1人1台のPC端末を活用した教育活動がスタートします。

しかし、どんなに変化をしようとも、新たな教育内容が導入されようとも、大切なことは、変化や流行に振り回されず、「目的やねらいは何か」「何をどのように学ばせるのか」そして「どのような子どもたちを育てていくのか」等といった核となる部分をしっかりと捉え、対応していくことです。そのためにも、私たち教職員は今年も日々学び続けます。そして、新年を機に一人一人が「なぜ教師を目指したのか」という原点に再度立ち返り、情熱と使命感をもって子どもたちを育てていきます。

＜着実に粘り強く取り組む3学期に＞

今年の干支は「丑(牛)」です。丑(牛)は、勤勉によく働く姿が「粘り強さ」や「堅実さ」を象徴していると言われています。また、十二支の動物の中で、最も動きが緩慢で歩みが遅いため、丑(牛)の年は、目の前のことに一步一步着実に取り組み、物事を進めていくことがよいそうです。

「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われるように、3学期は月日が足早に過ぎていきます。授業日数については55日(6年生は54日)しかありませんが、学習や生活のまとめを行ったり、進級に備えて準備したりする大事な時期となります。特に、6年生にとっては、小学校6年間の総まとめと中学校進学を控える重要な学期となります。短い期間ではありますが、今自分が行うべきことは何なのか、しっかりと目標を持たせながら一日一日着実に、そして粘り強く取り組ませ、一人一人が学力の向上を含め、自身の成長を実感できる学期にしていきたいと思ひます。

余談ですが、私の3学期の目標は、2学期からの継続で校庭を「1000周」走ることです。現在、707周ですが、残り293周、毎日着実にそして粘り強く頑張ろうと思っています。

開校50周年 今年はアニバーサリーイヤーです！

本校は、今年で開校50周年のアニバーサリーイヤーを迎えます。これまで本校に携わってこられた全ての方々の努力と熱意に思いを致し、今年も学校・家庭・地域が一体となって、鴻巣北小学校の歴史を一つ一つ着実に築いていきましょう。

